

# 令和4事業年度経営目標

## 1. 基本目標

将来にわたる事業運営の安定化と経営基盤の強化を図るとともに、競馬の施行を通じた社会貢献を果たしていくため、令和4事業年度の基本目標は以下のとおりとする。

### ○ 事業運営の根幹となる開催日数288日(36開催)の競馬の着実な実施

- ① 競馬の着実な実施は事業運営の根幹であり、JRAは、お客様の安全確保の徹底や競馬の公正確保の徹底、防疫面での強固な取組み、競走馬の事故防止対策の推進、各種システムの安定的運用等を通じて、288日の競馬を遂行する。
- ② より多くのお客様が参加できるよう288日の競馬開催日を設定したうえで、自然災害等により当初計画での実施が困難な場合においても、関係各所との調整を速やかに行い、代替競馬・続行競馬の実施について判断する。

### ○ 魅力ある競馬開催によるお客様総数の拡大—対前年比100%超

- ① 魅力ある競走の提供等により開催競馬場の入場人員の増加を図る。
- ② 快適な観戦環境の提供や販売ネットワークの拡充等により、パークウインズ及びウインズ等の入場人員の増加を図る。
- ③ 電話・インターネット投票の利便性向上等により会員の増加を図る。
- ④ お客様総数の拡大による発売金の増加を図る。

## 2. 個別目標

### ○ はじめに

中央競馬は、J R Aの経営の基本方針に「J R Aは、毎週走り続けます。」と掲げられているとおり、毎週、継続的に競馬を開催することで、競走体系、競走馬の飼養・管理、生産地への競走馬資源の還流（優秀な血統の継承）等が維持されており、仮に、何らかの事情により、円滑な競馬開催の継続が妨げられた場合、こうした競馬の成り立ちそのものに著しく深刻な状況が生じるだけでなく、その回復には極めて長期の年月を要することが想定される。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の社会・経済への影響が懸念される中において、J R Aでは種々の対策を講じながら、競馬の開催を継続してきたところであり、令和4事業年度においても、安定的な事業継続を図るうえで、基本目標に掲げた開催日数288日（36開催）の競馬の着実な実施を達成することが極めて重要となる。

そのため、以下に掲げる各項目において、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底するとともに、中央競馬の持続的発展を見据えた対策を講じていく。

#### （1）魅力ある競走の提供

お客様に長期にわたって中央競馬を楽しんでいただくため、魅力ある競走を提供すべく、以下の項目に取り組む。

- ① G I競走を頂点としたわかりやすい競走体系を構築すること。
- ② 質の高い出走馬による内容・頭数の充実した競走を提供すること。（平地重賞競走について、1競走あたりの平均出走頭数が14頭以上。）
- ③ 中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして位置付けられること。

#### （2）競走馬の資質・能力の向上等への取組み

競走馬の資質・能力を向上するための各種施策を実施する。

- ① 競走馬の生産育成、保健衛生、事故防止等に取り組む。
- ② 近年の夏季における気温上昇を踏まえ、暑熱対策に取り組む。
- ③ トレーニング・センター等の競走関連施設の充実に取り組む。
- ④ 厩舎運営の活性化、厩舎関係者の養成等に取り組む。

### (3) 競馬の公正確保の徹底

競馬の実施にあたり、公正確保に万全の態勢を整える。

- ① 馬主・競走馬等の登録、調教師・騎手の免許及びその取消しについて、競馬関係法令に基づき、厳正に実施する。また、競馬の公正を確保していく上で必要な制裁や処分を厳正に実施する。
- ② 競馬に対する信頼の確保に向けて、不正事案を未然に防止するため、常に保安体制の整備や注意喚起等を実施する。また、禁止薬物等の飼料への混入防止の徹底に努める。

### (4) 競馬への参加促進及び販売促進

競馬の魅力を訴求するとともに、競馬場等における各種施策の実施、さらには、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、WEB等をさらに活用した広報・プロモーション活動を実施することにより、幅広い層のお客様の参加を促す。

また、新型コロナウイルス感染症による環境の変化も踏まえつつ、競馬場やウインズ等における現金投票と電話・インターネット投票の双方の利便性向上を図り、勝馬投票券をより購入しやすい環境の整備に取り組む。

- ① GI競走をはじめとした様々な機会に各種メディアを通じたプロモーションを実施し、競馬の魅力を訴求する。
- ② 競馬中継の安定的な提供やパブリシティ活動の充実により、競馬に対する興味を喚起する。
- ③ 競馬場・ウインズ等においてはUMACA投票やスマッピー投票の更なる普及、また、電話・インターネット投票においては引き続き加入促進に取り組むなど、勝馬投票の利便性の向上を図る。
- ④ 払戻金施策をはじめ、各種販売促進施策を実施する。
- ⑤ 競馬場・ウインズ等のお客様関連施設の改善を進める。

### (5) ホスピタリティの向上

競馬場・ウインズ等にご来場いただいたお客様により快適に競馬を楽しんでいただくため、ホスピタリティの向上に努める。

- ① 接客マナーの向上を図るとともに、接客体制を充実する。
- ② 競馬場・ウインズ等において、観戦環境の向上を図る。

## (6) 馬事振興

我が国の馬文化を支え、競馬を健全に発展させるため、馬事文化の発展や乗馬の普及等、馬事の振興に努める。

- ① 乗馬人口の拡大を図る。
- ② 引退競走馬の利活用促進及び福祉の充実を図る。
- ③ 馬術の振興及び技術の向上を図る。
- ④ 馬事文化の発展に寄与し、競馬への理解を促進する。

## (7) 持続的な発展に向けた取組み

中央競馬の持続的な発展のために、社会貢献活動、環境問題及び信頼される組織の運営に積極的に取り組み、これらを広く社会に伝えることで、社会に愛され信頼される中央競馬を目指す。

- ① 社会貢献活動として、防災対策への貢献などの地域社会との連携・協調、畜産振興への支援等に取り組む。
- ② 事業活動に伴う環境負荷を極力抑制しながら環境との調和を図る。
- ③ 組織運営等に関する取組みとして、法令遵守と透明性の確保、危機管理体制の強化、情報セキュリティの確保、コンピューターシステムの更新及び全体最適化、ギャンブル等依存症や新型コロナウイルス感染症への適切な対応に取り組む。

---

(注記) : お客様総数 = 競馬場・ウインズ・J-PLACEへの来場者数  
+ 電話・インターネット投票の利用人員数  
(海外競馬の競走の発売を含む)